会告

■先端芸術音楽創作学会運営体制

運営委員

事務局

会長：小坂直敏 (東京電機大)
副会長：高岡明 (玉川大)，古川 聖 (東京芸大)
研究会担当：塩田和明 (尚美学園大)
会員担当：寺澤洋子 (筑波大)
広報 (Web)：根本翔多 (東京電機大)
会計：森威功 (東京芸大)
会報：安藤大地 (首都大)
翻訳：Renick Bell(東京電機大)

一般

石井紘美 (英国シティ大学), 今井慎太郎 (国立音大),
小林良穂 (慶応大), 寺澤洋子 (筑波大学),
中村滋延 (九州大), 西野裕樹 (シンガポール国立大学),
沼田雄司 (桐朋学園大学), 深山 覚 (東京大),
水野みか子 (名古屋市立大),
Cathy Cox(玉川大),
Michael Chinen(米国ダートマス大学)

在外国メンバー

Mara Helmuth(University of Cincinnati, U.S.A.),
Karen Wissel(Growth in Motion, Inc., U.S.A.),
Mark Battier(Sorbonne, France)

■電子ジャーナルへの投稿を歓迎します

原稿は原稿執筆要領に沿って書いていただき，編集委員まで送付して下さい．また，詳細については編集委員までお問い合わせ下さい．
編集委員：安藤大地 dandou[at]sd.tmu.ac.jp

原稿は以下のカテゴリに分類されます．

- **原著論文** 研究論文．査読を経て採録されたものが掲載されます．
- **研究報告** 研究の予稿．査読はなし．通常の学会の研究会の予稿に相当．
- **会議報告** 国際会議等の参加報告．
- **解説** 既に知られている重要な技術，概念，研究動向を読者にわかりやすく伝える記事．
- **連載** 何回か継続して綴られる原稿．解説や報告などさまざまな区分が個々の原稿にはあるが，全体を連載として区分する．
- **インタビュー** 作曲家，音楽家へのインタビュー．
- **書評** 読者へ紹介したい単行本の感想，評論など．
- **報告** 自身のあるいは研究室の活動報告など．
- **作品解説** 自作品の哲学，用いているシステム紹介，音楽理論などを作品の中で特筆すべき内容を解説する．プログラムノートを発展させ，より学術的にしたもの．

このほかのカテゴリも必要に応じ，作成したいと考えています．上記に当てはまらないものは編集委員にご相談下さい．

■第 6 回研究会

日時：2010 年 9 月 25 日 (日)　14:00 - 17:00
会場：東京電機大学神田キャンパス
お茶の水アネックス 4 階会議室

プログラム
○ 1 件目
講演タイトル：音楽における情動の理解と活用に向けて
発表者： 大村英史 (JST, ERATO, 岡ノ谷情動情報プロジェクト/理化学研究所)、川上愛 (東京芸術大学)、
柴玲子 (理化学研究所)、柴山拓郎 (東京電機大学)、
吹野美和 (パナソニック株式会社)、寺澤洋子 (筑波大学)、
岡ノ谷一夫 (JST, ERATO, 岡ノ谷情動情報プロジェクト/理化学研究所/東京大学)、古川聖 (東京芸術大学)

○ 2 件目
パネルディスカッション：音楽情動研究における今後の課題
発表者： 寺澤洋子 (筑波大学)、古川聖 (東京芸術大学)、
大村英史 (JST, ERATO, 岡ノ谷情動情報プロジェクト/理化学研究所)、寺澤洋子 (筑波大学)、吹野美和 (パナソニック株式会社)

○ 3 件目
講演タイトル：韓国のコンピュータ音楽概観
発表者： Richard Dudas, Jongwoo Yim
(Hanyang University, Seoul)

編集後記

今回の会報は，第 6 回研究会から発足した音楽情動研究会の発表が中心となっています．以前から古川先生が理研との共同で進めておられたサーベイや研究の概要がまとめられています．今回の研究会では，寺澤さん司会のもと音楽情動研究についてのパネルディスカッションも行います．創作に関わる人間にとっても人間がどのように音楽を感じているか，また音楽を感じるメカニズムは重要であり，非常に興味深い内容です．

さらに今回は，韓国ソウルの Hanyang University から Richard Dudas をお招きし，韓国のコンピュータ音楽事情について紹介していただきます．学会としてアジアのコンソーシアムを目指し連携をとって行く事は重要でしょう．

今後も先端芸術音楽創作学会をよろしくお願いいたします．
(会報編集担当:安藤)